	2027 —		2 八分事以丞和	(11)	10/3014/				T		
番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所	事故の種類	活動内容	事故者	概要	事故者数	死者· 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
1	10/10 (木)	10:25頃	宮古島市 シギラビーチ	溺水	遊泳中 (スノーケリング中)	外国人 30代女性	事故者は、1名でスノーケリングを開始。その後、監視塔スタッフが60m沖合で手をバタバタしている事故者を確認、直ちにビーチスタッフが救助に向かい、事故者を砂浜に引き揚げ救助したもの。引き揚げ時にある者には、意識がなかったため、浜にいた別の救助者が救急隊が到着するまでの間、心臓マッサージを実施。救急車にて病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
2	10/12 (±)	10:30頃	古宇利島 北東海域	溺水	スクーバダイビング中	外国人 30代 女性	事故者は、ダイビングショップによるツァーに参加し、1本目のダイビングを終え、通称エモンズというダイビングスポットにおいて、2本目のダイビングを開始。その後、事故者がインストラクターの肩を叩き、機材の異変を訴えたことから、意識をトラクターととから、事故者を船にながら、船上で心臓マッサージを実施しな病院、心臓送された。へりで搬送する際には、意識が回復していた。	1名	0名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
3	10/12 (±)	13:40頃	糸満市 喜屋武岬沖	病気	スクーバダイビング中	県外在住 20代 男性	事故者は、喜屋武岬沖のダイビングスポット(通称:トライアングル)にてダイビングを開始。3本目のダイビング中、事故者が体調不良を訴え自力で浮上、ダイビング船に戻った後、減圧症の症状を訴えた。ダイビング船にて漁港まで運ばれ、病院へ搬送された。	1名	0名	BC 着用	マリンレジャー中の事故

4	10/12 (±)	16:50頃 (情報入手時刻)	読谷村 残波岬公園沖	帰還不能	遊泳中 (スノーケリング中)	県内在住 20代 女性	事故者は、知人と2名でスノーケリングを開始したが、知人と沖合へ泳いでいる間にはぐれてしまい、元にいた場所が分からなくなり戻ることができなくなったもの。その後、付近にいた者に救助された。	1名	0名	救命胴衣 着用	マリンレジャー中の事故
5	10/13 (日)	09:40頃 (情報入手時刻)	本部町 崎本部海岸沖	溺水	遊泳中 (スノーケリング中)	外国人 70代 女性	事故者は、観光目的で旅客船にて来沖しており、旅客船の客数名でスノーケリング中、何らかの原因により溺れているところを一緒にいた旅客により、発見、救助されたもの。病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
6	10/14 (月)	14:55頃	うるま市 浜比嘉島北 アマンジー海辺	帰還不能	磯遊び中	県内在住 20代 男性 県内在住 20代 女性	事故者は、同行者と共に浜比嘉島アマンジーに遊びに来ており、島の北端の海沿いを歩いていたところ、潮が満ちてきていることに気付くのが遅れ、陸に自力で戻れなくなったと判断し、118番通報したもの。その後、琉球水難救済会所属船により、2名共に救助された。	2名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
7	10/15 (火)	14:35頃	宮古島市 シギラビーチ	溺水	遊泳中 (スノーケリング中)	県外在住 20代 男性	事故者は、1名で遊泳を開始し、使用していた浮き輪が沖に流されたことから、それを取りにいったところ足が届かなくなり、パニックになったことで海水を誤飲し溺れたもの。その後、付近にいたビーチスタッフ2名が救助した。事故者にあっては、救助者とともに徒歩で浜に上陸、意識や体調等異常なし。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故

8	10/19 (土)	09:35頃	読谷村 残波岬沖	溺水	スクーパダイビング中	県外在住 50代 男性	事故者は、ダイビングツアーに参加し、1本目のダイビング開始直後、水深3mの地点において、付近にいたインストラクターが事故者の異変に気づき、海面に浮上させるも心肺停止の状態であった。病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
9	10/20 (日)	09:00頃	久米島町 東側付近海域	溺水	スクーバダイビング中	県外在住 20代 女性	事故者は、友人2名とダイビングライセンス取得のため、ダイビングを開始した直後、溺れそうになっていたところを、付近にいたインストラクターに救助されたもの。事故者は救助後、意識が朦朧としていたことから、救急隊により島内の病院に搬送された。生命に別状なし。	1名	0名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
10	10/20 (日)	14:30頃 (情報入手時刻)	国頭村 謝敷海岸沖	帰還不能	遊泳中 (スノーケリング中)	県内在住 40代男性	事故者は、職場の同僚と2名でシュノーケルを開始したが、同僚が先に浜に上陸、事故者が戻ってこないため118番通報したもの。事故者は、マスク、スノーケルを装着しており、ライフジャケットの着用はなし。現在も発見に至っていない。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
11	10/20 (日)	16:30頃 (情報入手時刻)	北谷町 浄水場海岸沖	溺水	遊泳中	外国人 30代 女性	事故者は、1名で沖縄県に観光で訪れており、北谷浄水場付近海岸において遊泳を開始したが、溺れそうになったことから助けを求めたところ、付近にいた方により救助され無事が確認された。事故者に怪我等はなく、生命に別状なし。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
12	10/23 (水)	14:30頃	宮古島市 新城海岸沖	溺水	遊泳中 (スノーケリング中)	外国人 20代 女性	事故者は、同行者と共にスノーケリングを開始。その後、砂浜で休憩中の同行者が、沖合約50メートル、水深約2.5メートルで手をバタつかせて溺れている事故者を発見、周囲に助けを求め、砂浜に居た2名と遊泳中の3名が救助に向かい、事故者を砂浜へ引き揚げたもの。事故者は心肺停止状態であったことから、救助者が心肺蘇生を実施するも意識は戻らず、病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故

10/25 13 (金) 12:30頃	今帰仁村 古宇利ビーチ沖 済	溺水 遊泳中	外国人 50代 男性	事故者は妻と共に観光目的で沖縄を訪れており古宇利ビーチ付近海域でボディボードを使用して遊泳を開始。その後、ボディボードから離れてうつ伏せで浮いている事故者を妻が発見、声を掛けたが返事が無かったため、周囲に救助を求めたもの。事故者は付近に居た3名の男性により陸に引き揚げられた後、病院に救急搬送された。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
------------------------	-------------------	--------	---------------	--	----	----	-------------	-------------

※死者・行方不明者は、事故者数の内数です。

※調査中の事項または非該当は「一」で表示しています。

- ■安全にマリンレジャーを楽しむために
- スノーケリング・ダイビング等を行う場合には、以下の点に注意してください。
- ・自身の体調等を確認しましょう。
- ・基本的な技術を身につけましょう。

## WaterSafetyGuide

ウォーターアクティビティーを安全に無事故で楽しむための総合情報サイト https://www6.kaiho.mlit.go.jp/watersafety/index.html (スマートフォン用)

こちらの二次元コードからもページが開けます→



	2024 4		△ 八才争以还刊	(1月1日~10	3,1010						
番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
1	1/1 (月)	12:00頃	うるま市 勝連比嘉漁港付近海域	溺水	もずく漁中	県内在住 60代 男性	事故者は、送気式潜水器具(フーカー式)を装着し、もずく漁を実施していたが、潜水器具の空気が供給される面体部分が外れ、直立状態で浮いているところを兄が発見。病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	ウェットスーツ 着用	乗船中の事故
2	1/8 (月)	17:10頃 (情報入手時刻)	与那国島 ダンヌ浜	帰還不能	遊泳中 (スノーケリング中)	県内在住 30代 男性	事故者は知人2名と共に、スノーケリングをしていたところ、北西に流され、海岸に戻れなくなり、漁船により救助された。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
3	1/9 (火)	03:50頃 (情報入手時刻)	宮古島市 西平安名埼西側海域	溺水	素潜り漁中	県内在住 70代 男性	「海に漁をしに行った父親が帰ってこない」旨通報があり、捜索中のところ、海岸から約20メートルの海中で、事故者が発見・揚収され、死亡が確認された。	1名	1名	ウェットスーツ 着用	マリンレジャー以外の事故
4	1/13 (土)	04:55頃 (情報入手時刻)	石垣市 小浜島付近	溺水	電灯潜り	県内在住 80代 男性	「電灯潜りに出た養父が未だ戻ってきていない」旨の通報を受け、捜索したところ、海面に浮かんでいる事故者を発見した。当庁航空機にて揚収、病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	ウェットスーツ 着用	マリンレジャー以外の事故
5	1/22 (月)	16:40頃 (情報入手時刻)	北谷町 宮城海岸沖	帰還不能	カイトサーフィン中	県内在住 40代 男性	「カイト―サーフィンをしている者が流されている様に見える」旨通報があった。事故者は、消防の水上バイクにより救助された。	1名	0名	ウェットスーツ 着用	マリンレジャー中の事故
6	1/23 (火)	17:10頃 • (情報入手時刻)	石垣市 吉原海岸沖	帰還不能	ウイングサーフィン 中	県内在住 20代男性 40代男性	事故者含む3名がウイングサーフィンを実施中、1名が沖合から戻れず、もう1名が救助に向かうも両名とも帰還不能となった。両名はそれぞれ当庁航空機及び消防に救助された。	2名	0名	ウェットスーツ 着用	マリンレジャー中の事故 マリンレジャー以外の事故 (救助中)
7	1/24 (水)	16:15頃 (情報入手時刻)	国頭村 安波沖	海中転落	乗船中	県内在住 70代男性	「湾内で無人の船が同じ場所を旋回している」旨の通報を受け、付近を捜索したところ、海岸から400m付近海域にて事故者を発見、消防により救助されたが、死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 未着用	乗船中の事故
8	1/30 (火)	13:45頃 (情報入手時刻)	石垣市 底地ビーチ沖	帰還不能	SUP中	県内在住 30代 女性	事故者はSUP中に沖合に流されたため、自ら救助要請を行い、消防の水上バイクに救助された。	1名	0名	ウエットスーツ 着用	マリンレジャー中の事故

番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
9	2/4 (日)	08:55頃 (情報入手時刻)	那覇市沖合	負傷	乗船中の人身事故	県内在住 30代 女性	事故者はスノーケリングツアーで入水するする際、ラダー に指を挟み負傷したもの。	1名	0名	救命胴衣 着用	乗船中の事故
10	2/6 (火)	18:55 (情報入手時刻)	那覇市 那覇港	海中転落	車両運転中		事故者は一人で車両運転中、操作ミスにより車両ごと海中 転落した。消防に救助され、病院に搬送された。怪我等無 し。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー以外の事故
11	2/13 (火)	09:25頃	与那国町 沖合	溺水	スクーバダイビング 中	県外在住	事故者は、ダイビングポイントへ到着し、3名のグループでドリフトダイビングを開始。約5分後、事故者はガイドへ体調不良を訴えるサインを出して意識喪失。船上にてCPR実施、病院へ搬送されたが、その後、死亡した。	1名	1名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
12	2/20 (火)	08:20頃 (情報入手時刻)	渡嘉敷村 神山島沖	溺水	遊泳中 (スノーケリング中)	県外仕仕 5045 女性	事故者はスノーケリング中に意識朦朧となり、乗船していたダイビング船にて港まで搬送、救急隊に引継ぎ病院へ搬送された。命に別状なし。	1名	0名	救命胴衣 着用	マリンレジャー中の事故
13	2/24 (±)	10:00頃 (情報入手時刻)	宮古島市 中の島ビーチ	溺水	調査中		「ビーチの沖合の海中に沈んでいる人がいる」旨通報があり、関係機関により、沖合約50メートル、水深約3メートルにて海底の岩場に頭を挟まれ、うつ伏せの状態の事故者を発見。事故者はその場で消防により死亡が確認された。事故者の服装は水着に水中メガネであった。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故

番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所(詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者· 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
14	2/24 (±)	10:20頃 (情報入手時刻)	北谷町宮城海岸沖	負傷	サーフィン中	県内在住 20代 男性	事故者はサーフィン中に落水し、浅瀬に顔をぶつけ怪我を したもの。病院に搬送され治療を実施、命に別状なし。	1名	0名	ウェットスーツ 着用	マリンレジャー中の事故
15	2/27 (火)	09:50頃 (情報入手時刻)	本部町 ゴリラチョップ	溺水	スクーバダイビング 中	県外在住 50代 女性	事故者はインストラクターと2名でダイビング中、体調不良を訴えたことから、インストラクターと一緒に陸上向け泳いでいる途中で意識を喪失したもの。その後、病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
16	3/15 (金)	13:00頃	恩納村 真栄田岬「青の洞窟」	_	遊泳中 (スノーケリング 中)	県外在住 50代 男性	事故者は、友人1名とスノーケルツアーに参加しており、スノーケルを開始したものの、息苦しいと訴えたため、乗船していたダイビング船に戻り、入港後、病院へ搬送された。	1名	0名	救命胴衣 着用	マリンレジャー中の事故
17	3/17 (日)	09:30頃	渡嘉敷村 クエフ島北側付近海域	病気	スクーバダイビング 中	県外在住 30代 女性	「30代女性がダイビング直後の痙攣を起こし意識朦朧となった。救急搬送願う」旨の通報があった。事故者は、乗船していたダイビング船で港まで搬送されたのち、消防により病院へ搬送された。	1名	0名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
18	3/20 (水)	04:50頃	石垣島 北方海域	海中転落	乗船中	外国人 30代 男性	「漁船から男性1名が海中転落した」旨通報があり、当庁巡 視船及び航空機が現場にて捜索したものの発見には至って いない。	1名	1名	救命胴衣 未着用	乗船中の事故
19	3/24 (日)	10:50頃	石垣市 クラブメッド石垣島 カビラ内ビーチ沖	溺水	遊泳中 (スノーケリング 中)	県外在住 70代 女性	事故者は、ビーチで家族とスノーケリングを開始した。その後、家族が事故者に声をかけたが、意識が無かったため、陸上に引き上げられ、ライフセーバーが心肺蘇生を実施し、病院へ搬送されるも、死亡した。	1名	1名	救命胴衣 着用	マリンレジャー中の事故

	2027 4		△ 八才事以丞和	(1月1日:31)	o,,,o. H,						
番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
20	4/1 (月)	09:15頃 (情報入手時刻)	石垣島 南南東210キロメート ル付近海上	病気	乗船中	外国人 50代 男性	貨物船から「船内で乗組員1名が心臓発作を起こした。ヘリコプターでの救助を要請する」旨連絡があった。当庁航空機により患者を吊上げ救助し、病院へ搬送した。	1名	1名	救命胴衣 未着用	乗船中の事故
21	4/16 (火)	20:10頃 (情報入手時刻)	多良間島 多良間漁港西側海域	病気	素潜り漁中	県内在住 50代 男性	事故者は、職場の同僚と2名で素潜り漁をするため入水したが、水深1メートル付近で過呼吸となった後、意識がなくなり、海面上に倒れ、診療所へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	ウェットスーツ 着用	マリンレジャー以外の事故
22	4/26 (金)	08:30頃	うるま市 勝連浜漁港付近	病気	もずく漁中	県内在住 40代 男性2名	事故者2名は、送気式潜水器具(フーカー式)を装着し、もずく漁を実施していたが、空気が供給されなくなったため、緊急浮上し、自力で船上に上がったが、全身の痺れ等体調不良があったため、入港後、病院へ搬送された。2名共に命に別状なし。	2名	0名	ウェットスーツ 着用	乗船中の事故
23	4/27 (±)	11:20頃	糸満市 大度浜海岸沖	帰還不能	遊泳中 (スノーケリング中)	県内在住 40代 男性	事故者は、友人2名とスノーケリング実施中、引き波の影響で戻れなくなり、溺れかけていた事故者に気付いた友人2名が事故者を引っ張りながら近くのリーフまで搬送後、救助を求め、118番通報実施。当庁航空機により吊り上げ救助され、病院へ搬送された。命に別状なし。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故

	2027 —		2 八分争以赴报	(17)111.10							
番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
24	4/27 (±)	12:15頃	恩納村 万座ビーチ	負傷	海上フロートからの 飛び込み	外国人 50代 男性	事故者は、友人数名と共にビーチ内に設置された1.5メートル四方のフロートに乗り、海中に飛び込む等をして遊んでいたところ、同フロートの付近にいた友人が海面に浮いている事故者を発見、救助し、意識不明の状態で病院へ搬送された。負傷の原因については調査中。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
25	4/30 (火)	11:55頃	宮古島市 白鳥崎沖	病気	スクーバダイビング 中	県外在住 50代 男性	事故者は、ダイビング中、水深約5メートル付近で全身脱力状態、半目の状況であり、インストラクターからの呼びかけに対しても反応が鈍かったため、船上へ揚収され、港へ入港後、病院へ搬送され、減圧症の疑いのため、再圧治療が行われた。	1名	0名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
26	5/1 ( <b>/</b> k)	16:30頃 (情報入手時刻)	石垣市 マエサトビーチ	溺水	海上アスレチック からの転落	県外在住 40代 男性	事故者は、ビーチ内の海上アスレチック施設で遊んでいたところ海に転落し、同施設上に自力で上がれなかったため、スタッフが事故者を陸上へ搬送した。意識はあったが、顔面蒼白で呼吸困難であったことから、病院へ搬送されたもの。命に別状なし。	1名	0名	救命胴衣 着用	マリンレジャー中の事故

	2024 年	十一官	区 人身事故速報	(1月1日~10	0月31日)						
番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所(詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
27	5/3 (金)	19:30頃 (情報入手時刻)	宮古島 南西約24キロメートル	負傷	乗船中	外国人 30代 男性	事故者は、貨物船にて作業中に左足大腿部 に怪我を負ったため、当庁航空機により、 吊り上げ救助され、病院へ搬送された。	1名	0名	調査中	乗船中の事故
28	5/4 (土)	10:50頃 (情報入手時刻)	渡嘉敷村 黒島沖	病気	スクーバダイビング 中	県外在住 40代 男性	事故者は、ダイビング中に体調不良となり、乗船していたダイビング船にて診療所まで搬送され、その後ドクターへりにより、本島の病院へ搬送された。命に別状なし。	1名	0名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
29	5/5 (日)	12:40頃	うるま市 津堅島沖	負傷	トーイング遊具中	県外在住 20代 男性	事故者は、水上オートバイに曳航されたバナナボートに搭乗していたところ、海中転落し、何らかの原因により、負傷したもの。病院へ搬送され治療を実施、命に別状なし。	1名	0名	救命胴衣 着用	マリンレジャー中の事故
30	5/7 (火)	14:05頃	石垣市 マエサトビーチ	溺水	遊泳中 (スノーケリング中)	県外在住 70代 女性	事故者は、スノーケリングを実施していたが、動かなくなった状態の事故者を近くの者が発見し、ビーチスタッフとともに陸に引き上げたところ、意識不明、呼吸無しの状態だったため、病院へ搬送された。	1名	0名	ライフジャケッ ト未着用	マリンレジャー中の事故
31	5/17 (金)	16・20暦	南城市	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	遊泳由	県内在住	事故者2名は、友人と計4名で遊泳のため、 奥武漁港付近防波堤から飛び込み溺れたも	2/4	በタ	救命胴衣	マリンルジャー山の重劫

番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
01		10 · ZOIĄ	奥武島奥武漁港	19371	处所干	10代 男性	の。事故者1名は搬送時、心肺停止状態で あった。	4 <del>1</del>	να	未着用	、アンレンド 中 <del>の</del> 事以
32	5/26 (日)	10:45頃	恩納村真栄田岬	溺水	スクーバダイビング 中	県外在住 50代 女性	事故者は、ダイビングを実施中、インストラクターが事故者の意識が低下している状態に気づき、海面に浮上するも意識不明であった。その後、病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
33	5/30 (木)	12:15頃	宮古島市新城海岸	溺水	遊泳中 (スノーケリング 中)	県外在住 30代 男性	事故者は、同行者と2名でスノーケリングを開始、沖合500m~600m付近で、スノーケル内に入った海水を誤飲し、パニック状態となった。その後、付近の人に救助され、病院へ搬送された。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
34	6/1 (±)	09:55頃	渡嘉敷村 沖合	溺水	スクーバダイビング 中	県外在住 70代 男性	事故者は、ダイビング実施中、インストラクターが事故者の異変に気づき、船上に引き揚げるも意識不明のため、病院へ搬送され、入院加療となった。	1名	0名	BC 着用	マリンレジャー中の事故

番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所(詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
35	6/5 ( <b>/</b> k)	14:00頃 (情報入手時刻)	伊江村 GIビーチ沖合	帰還不能	遊泳中	県外在住 20代 女性	事故者は、友人と計4名で遊泳していたところ、海岸から200メートル付近の深み(水深約2メートル)にはまり、付近の孤立した岩の上に乗って岸に戻れなくなってしまい、119番通報したもの。その後、琉球水難救済会所属の漁船に救助された。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
36	6/10 (月)	09:30頃	読谷村 残波ビーチ	溺水	遊泳中	県外在住 10代 男性	事故者は、修学旅行で沖縄を訪れており、 ビーチにて遊泳を開始したが、足が着かず 溺れそうになったことから、付近にいた友 人に助けを求め、救助された。搬送先の病 院で治療を受けたが、命に別状なし。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
37	6/14 (金)	13:30頃	宮古島市 長間田浜沖	帰還不能	SUРФ	県外在住 20代 男性 県外在住 20代 女性	事故者2名は、長間田浜からそれぞれのSUPで出発、同浜から約500メートル沖にて強風の影響を受け、自力で浜に戻れなくなった。巡視船2隻及び消防のゴムボート1隻が現場に向かったところ、沖合1500メートルにて事故者2名を発見、消防のゴムボートにて救助した。事故者2名に怪我等無し。	2名	0名	救命胴衣 着用	マリンレジャー中の事故
38	6/20 (木)	19:50頃	恩納村	溫水	游泳山	県内在住	事故者は、友人1名とカヤック1艇に同乗し、いんぶビーチから距岸約100メートル付近においてカヤックを係留後、モリで魚を突く目的でそれぞれ分かれて遊泳を開始。	1夕	1夕	救命胴衣	マリンルジャー中の重劫

			二 八刀子以是似	(1)) [ ]							
番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
00		(情報入手時刻)	名嘉真いんぶビーチ沖	/934/T	<b>观</b> /// 十	40代 男性	カヤックに戻る時間になってもが事故者がか帰ってこなかったため、118番通報したもの。後日、事故者は海岸に打ちあがっている状態で発見され、死亡が確認された。	141	14	未着用	・ アンレンド 下の事以
39	6/22 (±)	14:10頃	石垣市観音埼沖	溺水	アンカー外し作業中	県内在住 70代 男性	事故者は、アンカーに何らかの不具合が発生したことから、確認のため入水し、そのまま戻らなくなったことから同乗者が118番通報したもの。同日、航行中の船舶がうつ伏せ状態で浮いていた事故者を発見し揚収。その後、病院に搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー以外の事故
40	6/24 (±)	16:40頃 (情報入手時刻)	久米島町 一着島沖	帰還不能	遊泳中 (スノーケリング中)	県内在住 50代 男性	事故者は、スノーケリング中にリーフ上で 身動きが取れなくなり孤立したもの。その 後、通報を受けた消防隊員にて救助され た。事故者に怪我等無し。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
41	6/28 (金)	10:45頃 (情報入手時刻)	宮古島市 赤浜漁港付近	病気	投網中	県内在住 70代 男性	事故者は、投網目的で自宅を出たが、帰宅 予定時間になっても帰ってこなかったた め、事故者の妻が通報したもの。その後、 赤浜漁港付近にてうつ伏せ状態の事故者を 発見、病院へ搬送されたが死亡が確認され た。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー以外の事故

	2024 +	1 5	△ 八分争以还刊	(1月1日~1	0)]01日)						
番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
42	6/29 (±)	14:15頃	石垣市 マエサトビーチ沖	溺水	遊泳中	県外在住 70代 女性	事故者は、マエサトビーチに家族と来ていたが、1人で遊泳を開始。ビーチを監視していたビーチスタッフが波打ち際から約2メートル付近にてうつ伏せで浮いている事故者を発見し、通報した。陸に引き上げ心肺蘇生を実施、病院へ搬送された。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
43	7/4 (木)	15:50頃 (情報入手時刻)	渡嘉敷村 渡嘉志久ビーチ沖	溺水	遊泳中	県外在住 10代 女性	事故者は、修学旅行で渡嘉敷島に来ており、ビーチの遊泳区域内で同級生約70名と一緒に泳いでいたところ、足が着かず溺れそうになったことから、助けを求め付近にいた友人2名と引率の先生に救助された。病院へ搬送されたが、命に別状なし。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
44	7/6 (±)	13:30頃 (情報入手時刻	宮古島市 新城海岸沖	溺水	遊泳中 (スノーケリング中)	県外在住 70代 男性	事故者は、スノーケリング中に何らかの原因により、溺水し、波打ち際にてうつ伏せ状態のところを付近の一般人が発見、ビーチスタッフが事故者を救助したが、現場に到着した救急隊により、その場で死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
45	7/6 (土)	17:40頃	糸満市	海山転茨	<b>給 U 由</b>	県内在住	事故者は、喜屋武漁港付近の防波堤付近に てうつ伏せ状態で浮いているのを発見。病 陸へ搬送されたが死亡が確認された。海洪	1夕	1夕	救命胴衣	マリンルジャー中の重劫

					3)]01日)						
番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
+∪		(情報入手時刻)	喜屋武漁港付近	<b>海</b> 平私 <b>者</b>	<del>٣٠ و وع</del>	70代 男性	内に事故者の車や釣り具があり、釣りをしていたとみられる。	1/11	- <del>(</del> 1	未着用	<b>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</b>
46	7/8 (月)	15:15頃 (情報入手時刻)	本部町 崎本部海岸沖	溺水	遊泳中 (スノーケリング中)	外国人 30代 男性	事故者は、1人でスノーケリング中、海中にて何らかの理由により意識を失ったもの。付近にいたダイビングショップ業者により、救助され、病院へ搬送された。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
47	7/10 (水)	09:50頃	本部町 水納島沖	病気	スクーバダイビング	外国人 70代 男性	事故者は、インストラクターと別のダイビング客2名の計4名で水納島沖にてダイビングを実施していた。ダイビング中、インストラクターが事故者と目が合わない等、挙動に異変を感じたことから海面に浮上したところ、事故者が意識を失ったもの。病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
48	7/14 (日)	10:30頃	東村福地川海浜公園付近	溺水	遊泳中	県内在住 10歳未満 男性	事故者は、家族・友人とともにキャンプをするため、福地川海浜公園を訪れていたものであるが、事故者は遊泳していた際、深みにはまって溺水したもの。陸に引き上げられ心肺停止の状態であったため、心肺蘇生を実施、病院へ搬送された。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故

			二八万子以是私	(1)] [ [ (1)							
番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
49	7/14 (日)	13:35頃 (情報入手時刻)	宮古島市 吉野海岸	溺水	遊泳中 (スノーケリング中)	外国人 30代 女性	宮古島海上保安部に「吉野海岸で人が溺れ、一般人により救助された」旨の情報提供があった。救助者はサーフィン中、沖合10メートル付近にて、助けを求める事故者を発見し、救助した。事故者に怪我等なし。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
50	7/15 (月)	14:10頃	石垣市 米原ビーチ	溺水	遊泳中 (スノーケリング中)	県外在住 30代 男性	事故者は、1人でスノーケリングを開始した。その後、事故者の妻が波打ち際から約20メートル沖合い浮いている事故者を確認し、近くにいた遊泳者に助けを求めた。陸まで引き上げたところ、意識不明・心肺停止の状態であったため、病院へ搬送されたが、翌日、死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
51	7/19 (金)	07:45頃 (情報入手時刻)	豊見城 豊崎報得川高架橋西側	溺水	不明	県内在住 30代 男性	「豊見城市の菓子店付近で男性1名が溺れている」旨の通報があった。消防により、引き上げられ病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー以外の事故

番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
52	7/25 (木)	09:55頃	本部町 崎本部塩川ビーチ沖	帰還不能	サーフィン中	県内在住 20代 男性 県内在住 10代 女性	事故者2名は、ビーチからサーフボード2台にそれぞれ乗り入水。約10分後、事故者2名が沖に向かって流されたため、岸に戻れなくなると思い、サーフボード1台を放棄して、1台のボードに2人で掴まり、陸岸にいた者に救助を求めたもの。その後、消防により、救助された。	2名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
53	7/28 (日)	07:20頃 (情報入手時刻)	大正島 南方	海中転落	乗船中	外国人 20代 男性	当庁航空機が「乗組員が海中転落したので、救助願う」旨の無線を受信した。救助要請を行ったのは、外国籍のタンカー船であり、大正島南方約40キロメートルの海上で乗組員1名が海中転落したとのこと。その後、捜索したが、発見には至っていない。	1名	1名	救命胴衣 未着用	乗船中の事故
54	7/31 (水)	13:00頃	うるま市 浜比嘉島シルミチューの浜 付近	溺水	磯遊び中	県外在住 10歳未満 男性	事故者は、家族とともに水遊びをするため 浜比嘉島シルミチューの浜を訪れていたも のであるが、兄と2人で波打ち際で水遊びを していたところ、溺水したもの。救助者が 付近で遊泳していたところ、大人の腰ぐら いの水深の海上で仰向けの状態で浮いてい る事故者を発見し、救助した。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
55	7/31 (木)	20:00頃	沖縄島 北西約113七口4 <u>—</u> ト	<b>各</b> /恒	垂魞由	外国人	リベリア籍貨物船から、「本船乗組員が左 手首を骨折したので、救助を求める。」旨	1夕	0夕	救命胴衣	垂糾中の重妆

番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
- 00		(情報入手時刻)	オレビザット 10ペーロン・	只彻	<b>未</b> 加工	40代 男性	の要請があった。その後、当庁航空機を出 動させ、事故者を吊り上げ救助した。	143	ν <b>д</b>	未着用	<b>未加</b> ヤ <b>ジ</b> 字以
56	8/2 (金)	10:20頃 (情報入手時刻)	宮古島市伊良部北側	溺水	スノーケリング中	県外在住 60代 男性	事故者は、体験ダイビングツアーに参加し、水慣らしのためスノーケリングを開始した。約15分後、インストラクターが事故者の異状に気づき、接近して呼び掛けるも、うつ伏せで意識・呼吸がない状態であった。その後、病院へ搬送されるも医師により死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
57	8/2 (金)	14:50頃	金武町サンライズビー チ	溺水	磯遊び中	県外在住 10歳未満 男性	事故者を含む兄弟3名が波打ち際で遊んでいたところ、一緒にいた兄が事故者の異状に気づき、直ちに父親が事故者を救助した。救助時、父親が背中を叩いたところ海水を吐き出し、意識が回復した。その後、病院へ搬送された。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
58	8/2 (金)	12:00頃	北大東島北東沖	海中転落	乗船中	外国人 20代 男性	中国浙江海事局から「バヌアツ籍冷凍運搬船から男性1名が海中転落した」旨の通報があり、当庁巡視船及び航空機で捜索するも発見に至っていない。	1名	1名	不明	乗船中の事故
59	8/2 (金)	15:30)适	石布皇米佰ビーチ	≒R 7k	游泳山	外国人	事故者は、米原ビーチに家族で訪れ、一緒にいた事故者の姉が、事故者を背負って遊泳していたところ、事故者が海水を誤飲し暴れだしたため、周囲に助けを求めた。直	1夕	0名	救命胴衣	マリンルジャー中の重劫

番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
0.0		10 · 00 · 00	14世の不原し )	1937]	<i>ш</i> .//¬Т	10歳未満 女性	ちに父親が事故者を救助し、心臓マッサージ・人工呼吸の必要はなかったが、顔面蒼白で呼吸が荒く、意識朦朧であったことから病院へ搬送された。	141	Ф	未着用	イソンレンド 下の事故
60	8/2 (金)	21:00頃 (情報入手時刻)	石垣島西方沖	病気	乗船中	外国人 50代 男性	事故者は、中国籍貨物船内において数日前から吐き気、胃の痙攣、嘔吐、意識朦朧の症状があり、医療助言よって当庁に対し救助要請があったもの。その後、当庁航空機により吊り上げ救助後、病院へ搬送された。	1名	0名	救命胴衣 未着用	乗船中の事故
61	8/4 (日)	21:40頃	多良間漁港南西沖	溺水	遊泳中	県内在住 10代 男性	事故者は、素潜り中にロープがサンゴに絡まり浮上困難となるも、何とか自力でロープを外し海面に浮上したが直後に意識を失ったもの。父親等が事故者を船上に引き揚げ、背中を叩いたところ口から海水を吐き出し意識が回復したが、呼吸が苦しそうな様子であったことから、診療所へ搬送された。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
62	8/9 (金)	11:55頃	恩納村真栄田付近海岸	溺水	スクーバダイビング 中	外国人 20代 女性	事故者は、体験ダイビング中に水深約3 メートルの地点においてレギュレーターと マスクを外し急浮上したため、インスタク ターにより陸上に搬送したところ、事故者 の口から白色の泡が確認され、呼吸はある ものの意識なしの状態であったことから、 病院へ搬送された。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故

番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
63	8/10 (±)	12:30頃	本部町水納ビーチ	溺水	スノーケリング中	外国人 20代 女性	事故者は、ボートスノーケルツアーに参加、ツアー終了後、単独でライフジャケット未着用で水納ビーチで遊泳を開始した。帰りが遅いと思った友人が事故者を確認したところ、うつ伏せ状態で浮いている事故者を発見し、ビーチスタッフ等が救助、その後、病院へ搬送されたが医師により死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
64	8/11 (日)	18:00頃 (情報入手時刻)	渡嘉敷村渡嘉志久ビー チ	溺水	スノーケリング中	県外在住 20代 男性	事故者はスノーケリング中に海水を誤飲したため、スノーケリングを中止し、海面に浮いているところを付近にいたSUP中の者に救助された。事故者は意識はあり、自力歩行できる状況であったが、嘔吐したため付近にいた者が通報し、診療所まで搬送された。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
65	8/15 (金)	13:50頃 (情報入手時刻)	沖縄本島南東沖	負傷	乗船中	外国人 40代男性	「漁船に乗船していた者が転落し、負傷した」旨の救助要請があったもの。当庁航空機を現場に向かわせ、吊り上げ救助し、病院へ搬送した。事故者の命に別状なし。	1名	0名	救命胴衣 未着用	乗船中の事故
66	8/21 (金)	12・15活		台復	ト―イング流目由	県外在住	事故者を含む8名はマリンショップが水上 オートバイで曳航するバナナボートに乗船 し、ビーチを出発して周遊を開始。その 後、事地者が何らかの百田で同バナナボー	1夕	0夕	救命胴衣	マリンルジャー由の重劫

番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
0		IZ · IJIĢ	心 (	只彻	1 コンノ処穴下	10代男性	は、事成者が何らかの原因と何ハナナが トから海中に転落し、右側の前頭部に約2センチメートルの擦過傷及び右肘に約5センチメートルの擦過傷を負ったもの。	- μ	VП	着用	( ) プレブ ( 一下の事故
67	8/21 (金)	17:50頃	恩納村ウドゥイヌハマ 沖	帰還不能	スクーバダイビング 中	外国人 40代 女性	事故者は、友人ら3名とダイビング目的でウドゥイヌハマから入水し、海上移動を開始。約10分後、入水場所から約100メートル沖合にて友人らが事故者がいないことに気づき、上陸後、付近にいた通行人に通報を依頼したもの。現場海域を捜索するも発見には至っていない。	1名	1名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
68	8/25 (日)	08:40頃	本部町 ゴリラチョップ	溺水	遊泳中	県外在住 60代男性	事故者は、ダイビングライセンスの資格取得のため、インストラクター1名と同じ試験を受験する1名の計3名で試験科目の1つである300メートル遠泳を実施していた。実施中、事故者が泳ぐのを止めて仰向けで浮いている状況が続いたため、試験を中止、陸へ上がった後に意識が喪失したもの。病院へ搬送され、治療が施されたが、死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
69	8/25 (日)	14:20頃	本部町備瀬崎海岸沖	溺水	スノーケリング中	県外在住 70代男性	事故者は、スノーケリングを開始したが、海岸から約40メートル離れた場所にて溺れている状況に気付いた親族及び付近に居た遊泳者が事故者を陸へ引き揚げ、病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故

	2024 年	I ===	区 人身争议速報	(1月1日~10	JH310)						
番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所(詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
70	8/29 (木)	15:10頃	宮古島市 パチャビーチ沖	溺水	スノーケリング中	県外在住 40代 男性	事故者は、妻とビーチを訪れ、スノーケリングを開始したが、沖合約3~4メートル付近において、水深が急に深くなり、溺れたもの。同行していた妻が付近にいた人に救助を求め、3名が救助に向かい、砂浜まで引き上げ、心臓マッサージを実施したところ、意識が回復した。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
71	8/29 (木)	14:00頃	石垣市吉原海岸沖	負傷	遊泳中	外国人 20代 男性	事故者は、浮き具に掴まり海岸から約150 メートルの沖合で海水浴中に戻れなくなっ たもの。陸にいた通報者が消防へ救助要請 したところ、付近航行船舶により救助され た。なお、事故者は溺水はなかったが、手 を負傷していたため、病院へ搬送された。	1名	0名	救命胴衣 着用	マリンレジャー中の事故
72	8/29 (木)	16:40頃	石垣市 崎枝浜沖	帰還不能	スクーバダイビング 中	県内在住 20代 女性	事故者は、崎枝浜沖合にて3名でダイビングを開始(客1名、インストラクター2名、事故者はインストラクター)。その後、事故者のフィンが破損し帰還困難となったもの。その後、サーファーにより救助された。	1名	0名	BC 着用	マリンレジャー以外の事故
73	8/30 (金)	15 · 25년	,宮古島市	≅₹vk	游泳山	県外在住	事故者は、母親とともに、ビーチ海岸から 沖合5メートル付近、水深約1.5メートルの 場所で遊泳し、母親が5分程、事故者から目	1夕	0夕	救命胴衣	マリンルジャー中の重地

番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
70		10 · 20 · g	中の島ビーチ	1997)	<b>班小</b> 丁	10代 女性	を離した間に溺れ、うつ伏せ状態で浮いている事故者を母親が発見したもの。付近遊泳者が救助し、病院へ搬送された。	14	VП	未着用	・ プラレクド 〒の季以
74	8/30 (金)	17:10頃 (情報入手時刻)	宮古島市 城辺字友利インギャー ピーチ	溺水	スノーケリング中	県外在住 80代 男性	事故者は、家族とビーチを訪れ、20分程度スノーケリングの練習を実施。その後、10分程度休憩を取り、再度、入水し、スノーケリングを実施。沖合約3メートル、水深約1.5メートルの海面に、家族がうつ伏せで浮いている事故者を認め、砂浜へ引き揚げた。家族が、心臓マッサージを施し、意識・呼吸が回復した。	1名	0名	救命胴衣 着用	マリンレジャー中の事故
75	8/31 (±)	16:35頃	宮古島市 シギラビーチ	溺水	スノーケリング中	外国人 60代 男性	事故者は、家族とビーチを訪れ、スノーケリングを開始。その後、家族が事故者の様子がおかしいことに気が付き、救助を求めたもの。付近でスノーケルツアー中だったスタッフ1名が駆け付け、事故者を引き揚げ、病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 着用	マリンレジャー中の事故
76	9/10 (火)	08:20頃	竹富島 南方	溺水	遊泳中	県外在住 70代男性	事故者は、竹富島南方海域においてダイビング開始前の準備運動としてマスクのみを着用した状態でダイビング船から入水し、遊泳していたところ、突然動かなくなったため、スタッフが船上に引き揚げて救助したもの。病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	ウェットスーツ 着用	マリンレジャー中の事故

番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者· 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
77	9/12 (木)	11:00頃	名護市 安和付近	負傷	トーイング遊具中	県外在住 40代 男性	事故者は、友人が操船する水上オートバイに曳航された浮体遊具(マーブル)へ事故者含む3名が乗りこみ、遊走を開始、水上オートバイが左回頭した際に浮体遊具(マーブル)から海中に転落したもの。転落後、右肩に強い痛みを感じたことから病院へ搬送され、右上腕骨骨折と診断された。	1名	0名	救命胴衣 着用	マリンレジャー中の事故
78	9/13 (金)	13:05頃	名護市 かりゆしビーチ沖	負傷	トーイング遊具中	県外在住 20代 女性	事故者を含む5名(友人同士)は、5名(事故者含む)はマリン業者が水上オートバイで曳航するバナナボートに乗り、遊走を開始したが、水上オートバイが右回頭した際に海中転落し、その際左足中指と薬指の間に裂傷を負ったもの。	1名	0名	救命胴衣 着用	マリンレジャー中の事故
79	9/13 (金)	16:30頃	宮古島 保良石灰華段丘付近	帰還不能	遊泳中 (スノーケリング 中)	県内在住 20代 女性 外国人 20代 女性	事故者2名は、砂浜から約100メートル沖合を遊泳していたところ、風の影響で戻れなくなり、浜側を遊泳していた友人に救助を求めたもの。その後、ビーチスタッフにより、救助された。	2名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー以外の事故
80	9/13 (金)	16 · በበ暦	宮古島市	<b>虐</b> 優不能	游泳山	外国人 20代 男性	事故者2名は、保良の石灰華段丘に行くため、マイバー海岸から入水し、スノーケリングにて同丘に到着したが、その後、波が	9夕	0夕	救命胴衣	マリンルジャー由の重故

番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
00		10 · ∪∪⊲g	与那覇前浜ピーチ	/m x8°1.HC	处小平	外国人 30代 女性	高く、風が次第に強くなり戻れなくなり救助要請をしたもの。その後、当庁航空機により救助された。	<b>41</b>	V13	未着用	・ アンレンド 中の事以
81	9/16 (月)	14:00頃	渡嘉敷村渡嘉志久ビー チ	帰還不能	スノーケリング中	県外在住 20代 男性	事故者は、単独でスノーケリングを開始。付近にスノーケリングツアーの団体おり、その近くにいれば安全だろうと思い、団体の近くでスノーケリングをしていた。その後、団体がツアーの船に上がっていく際に入水したビーチを確認したところ、自力で戻れないところまで離れていたため、ツアーの船に上げてもらい港まで搬送してもらったもの。	1名	0名	救命胴衣 着用	マリンレジャー中の事故
82	9/19 (木)	11:30頃 (情報入手時刻)	宮古島市 新城海岸沖	帰還不能	遊泳中 (スノーケリング中)	県外在住 30代女性 県外在住 10歳未満男性	事故者2名は、観光のため、家族4名で新城海岸を訪れ、スノーケリングを開始したが、離岸流の影響により、沖へ流されたもの。付近のビーチスタッフが沖合に流されている事故者らを確認し、救助した。	2名	0名	救命胴衣 着用	マリンレジャー中の事故
83	9/20 (金)	17・201百	那覇市	SSR 7k	游泳山	県外在住	事故者は、友人4名と観光で沖縄県を訪れて おり、事故者含む5人で遊泳を開始。事故者 が浮き沈みしているところを友人が確認	1夕	∩ <i>⁄</i> Z	救命胴衣	マリンルジャー中の重地

				(17)114 10	.,,,,,						
番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
00		17 · 20 iq	波の上ビーチ	19971	<b>知</b> 亦士	10代 男性	し、近くに寄っていったところ、「助けて」と発したことから、救助したもの。事 故者に怪我等なし。	141	∨π	未着用	( ) プレク (
84	9/23 (月)	13:50頃 (情報入手時刻)	石垣市 崎枝海岸沖	帰還不能	遊泳中 (スノーケリング中)	県外在住 20代 男性 県外在住 20代 女性	事故者2名は、熱帯魚観賞のため、沖へと遊泳していたが、沖合約200メートルにて離岸流に流されていることに気付き帰還できなくなったもの。その後、消防の水上オートバイにより事故者2名は救助された。	2名	0名	救命胴衣 着用1名 未着用1名	マリンレジャー中の事故
85	9/25 (水)	10:50頃	恩納村万座沖	溺水	スクーバダイビング中	外国人 30代 女性	事故者は、ダイビングツアーに参加し、2本目のダイビング中に口に咥えていたレギュレーターを指さし、機材の異変を訴えたことからインストラクターとともに海面へ半上を開始した。浮上中、事故者がレギュレーターを口から外したことから、インストラクターが事故者にオクトパス(予備のレギュレーター)を装着させて、海面へ海上し、救助したもの。病院へ搬送され、海水誤嚥の診断を受けた。	1名	0名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
86	9/25 (水)	12:30陌	本部町	\id=7k	遊泳中	_外国人_	事故者は、観光目的で沖縄を訪れており、 スノーケリングを行っていたところ、ス ノーケルを口から外してうつ伏せの状態で アハているのを付近遊泳者が発見したま	1夕	0全	救命胴衣	マリンルジャー由の重劫

番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
00		12 · 000g	備瀬崎	/83/J\	(スノーケリング中)	50代 女性	の。近くにいた看護師と第一発見者が事故者を陸へ搬送し、心肺蘇生を実施、病院へ搬送された。	141	ν π	未着用	・ テンレンド 中ツ字以
87	10/6 (日)	10:20頃	糸満市 糸満漁港沖	溺水	スクーバダイビング中	県内在住 60代 女性	事故者は、2本目のダイビングを終了し、浮上後、事故者本人がレギュレーターを外し息苦しさを訴え、事故者自身で船上に上がるも脈が弱くチアノーゼの所見があったことから同乗していた看護師により、心肺蘇生を実施。意識不明の状態で病院へ搬送された。その後、心拍が再開した。	1名	0名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
88	10/7 (月)	11:30頃	宮古島市 下地島中の島ビーチ	溺水	遊泳中 (スキンダイビング中)	外国人 30代男性	事故者は、同行者3名とともにビーチから沖合180m付近でスキンダイビングを行っていたが、同行者がうつ伏せの状態で浮いている事故者を発見したもの。ビーチにいた人に救助を要請し、同行者と救助者で砂浜まで引き上げ、心肺停止状態であったため、浜にいた別の救助者が心肺蘇生を実施、病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
00	10/10		空大島市		游泳山	外国人	事故者は、1名でスノーケリングを開始。その後、監視塔スタッフが60m沖合で手をバタバタしている事故者を確認、直ちにビーチスタッフが救助に向かい、事故者を砂浜	4 50	4 75	数命晍衣	

番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所(詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
89	(木)	10:25頃	シギラビーチ	溺水	<u>鬼が</u> 「 (スノーケリング中)	30代女性	に引き揚げ救助したもの。引き揚げ時に事故者には、意識がなかったため、浜にいた別の救助者が救急隊が到着するまでの間、心臓マッサージを実施。救急車にて病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	省	名	未着用	マリンレジャー中の事故
90	10/12 (±)	10:30頃	古宇利島 北東海域	溺水	スクーバダイビング 中	外国人 30代 女性	事故者は、ダイビングショップによるツアーに参加し、1本目のダイビングを終え、通称エモンズというダイビングスポットにおいて、2本目のダイビングを開始。その後、事故者がインストラクターの肩を叩き、機材の異変を訴えたことから、インストラクターととから、事故者を船になた。とから、船港へ搬送、レスキューへりにて病院、漁港へ搬送、レスキューへ際には、意識が回復していた。	1名	0名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
91	10/12 (土)	13:40頃	糸満市 喜屋武岬沖	病気	スクーバダイビング 中	県外在住 20代 男性	事故者は、喜屋武岬沖のダイビングスポット(通称:トライアングル)にてダイビングを開始。3本目のダイビング中、事故者が体調不良を訴え自力で浮上、ダイビング船に戻った後、減圧症の症状を訴えた。ダイビング船にて漁港まで運ばれ、病院へ搬送された。	1名	0名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
92	10/12 (土)	16:50頃 (情報入手時刻)	読谷村 残波岬公園沖	帰還不能	遊泳中 (スノーケリング中)	県内在住 20代 女性	事故者は、知人と2名でスノーケリングを開始したが、知人と沖合へ泳いでいる間にはぐれてしまい、元にいた場所が分からなくなり戻ることができなくなったもの。その後、付近にいた者に救助された。	1名	0名	救命胴衣 着用	マリンレジャー中の事故
93	10/13 (日)	09:40頃 (情報入手時刻)	本部町 崎本部海岸沖	溺水	遊泳中 (スノーケリング中)	外国人 70代 女性	事故者は、観光目的で旅客船にて来沖しており、旅客船の客数名でスノーケリング中、何らかの原因により溺れているところを一緒にいた旅客により、発見、救助されたもの。病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故

番号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所(詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
94	10/14 (月)	14:55頃	うるま市 浜比嘉島北 アマンジー海辺	帰還不能	磯遊び中	県内在住 20代 男性 県内在住 20代 女性	事故者は、同行者と共に浜比嘉島アマンジーに遊びに来ており、島の北端の海沿いを歩いていたところ、潮が満ちてきていることに気付くのが遅れ、陸に自力で戻れなくなったと判断し、118番通報したもの。その後、琉球水難救済会所属船により、2名共に救助された。	2名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
95	10/15 (火)	14:35頃	宮古島市 シギラビーチ	溺水	遊泳中 (スノーケリング中)	県外在住 20代 男性	事故者は、1名で遊泳を開始し、使用していた浮き輪が沖に流されたことから、それを取りにいったところ足が届かなくなり、パニックになったことで海水を誤飲し溺れたもの。その後、付近にいたビーチスタッフ2名が救助した。事故者にあっては、救助者とともに徒歩で浜に上陸、意識や体調等異常なし。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
96	10/19 (土)	09:35頃	読谷村 残波岬沖	溺水	スクーバダイビング 中	県外在住 50代 男性	事故者は、ダイビングツアーに参加し、1本目のダイビング開始直後、水深3mの地点において、付近にいたインストラクターが事故者の異変に気づき、海面に浮上させるも心肺停止の状態であった。病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
97	10/20 (日)	09:00頃	久米島町 東側付近海域	溺水	スクーバダイビング 中	県外在住 20代 女性	事故者は、友人2名とダイビングライセンス取得のため、ダイビングを開始した直後、溺れそうになっていたところを、付近にいたインストラクターに救助されたもの。事故者は救助後、意識が朦朧としていたことから、救急隊により島内の病院に搬送された。生命に別状なし。	1名	0名	BC 着用	マリンレジャー中の事故
98	10/20 (日)	14:30頃 (情報入手時刻)	国頭村 謝敷海岸沖	帰還不能	遊泳中 (スノーケリング中)	県内在住 40代男性	事故者は、職場の同僚と2名でシュノーケルを開始したが、同僚が先に浜に上陸、事故者が戻ってこないため118番通報したもの。事故者は、マスク、スノーケルを装着しており、ライフジャケットの着用はなし。現在も発見に至っていない。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故

2024 #				△ 八分争以还刊	(17)16~107316)							
番	号	事故発生日	事故発生時間	事故発生場所 (詳細)	事故種類	活動内容	事故者	概要	乗船者数	死者 · 行方不明者数	浮力の有無	事故の種類
9	9	10/20 (日)	16:30頃 (情報入手時刻)	北谷町 浄水場海岸沖	溺水	遊泳中	外国人 30代 女性	事故者は、1名で沖縄県に観光で訪れており、北谷浄水場付近海岸において遊泳を開始したが、溺れそうになったことから助けを求めたところ、付近にいた方により救助され無事が確認された。事故者に怪我等はなく、生命に別状なし。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
10	00	10/23 (水)	14:30頃	宮古島市 新城海岸沖	溺水	遊泳中 (スノーケリング 中)	外国人 20代 女性	事故者は、同行者と共にスノーケリングを開始。その後、砂浜で休憩中の同行者が、沖合約50メートル、水深約2.5メートルで手をバタつかせて溺れている事故者を発見、周囲に助けを求め、砂浜に居た2名と遊泳中の3名が救助に向かい、事故者を砂浜へ引き揚げたもの。事故者は心肺停止状態であったことから、救助者が心肺蘇生を実施するも意識は戻らず、病院へ搬送されたが、死亡が確認された。	1名	1名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故
10	01	10/25 (金)	12:30頃	今帰仁村 古宇利ビーチ沖	溺水	遊泳中	外国人 50代 男性	事故者は妻と共に観光目的で沖縄を訪れており古宇利ビーチ付近海域でボディボードを使用して遊泳を開始。その後、ボディボードから離れてうつ伏せで浮いている事故者を妻が発見、声を掛けたが返事が無かったため、周囲に救助を求めたもの。事故者は付近に居た3名の男性により陸に引き揚げられた後、病院に救急搬送された。	1名	0名	救命胴衣 未着用	マリンレジャー中の事故